

●「山口節生氏からの損害賠償等請求事件」最高裁上告を棄却

当士協会全面勝訴の東京高裁判決を不服として山口節生氏及び同氏が代表者の株式会社日本経済研究所から上告提起及び上告受理申立があった標記裁判について、最高裁判所第二小法廷は平成18年5月29日に裁判官5名全員一致で上告棄却及び上告不受理の決定を下しました。これで平成11年9月の山口節生氏及び平成13年1月の日本経済研究所に対する入会拒否が独占禁止法違反であるとして、7年近くにわたり争われてきた裁判に於いて、当士協会の正当性が全面的に認められ、最終的な決着がつけられました。この間、これら裁判のために多忙な中、証拠書類の整理・法廷での証言・関連資料の準備等に携わり、貴重な時間を割かれました関係者の方々はじめ会員の皆様方に深く感謝申し上げます。

お知らせ

■入会

平成18年4月～5月に士協会に入会した方を紹介します。



鈴木 康隆 (士)
(財)日本不動産研究所
さいたま支所
さいたま市浦和区高砂
2-6-5 浦和大栄ビル
TEL 048-822-1211
FAX 048-822-3170
(4月21日付)

■代表者変更



三栄不動産鑑定(株)
青沼 由延 (士補)
↓
野口 貴幸 (士)

■事務所移転

(有)あづな鑑定

〒332-0015 川口市川口1-1-2-605
TEL 048-222-7999
FAX 048-226-0231

(有)みづほ不動産鑑定

〒338-0011 さいたま市中央区新中里5-7-5
TEL 048-729-6057
FAX 048-824-8180

■退会

島田 義男 (士)

(財)日本不動産研究所さいたま支所 (転勤)

4～5月の行事報告

4月～5月中の士協会の行事等については次のとおりでしたのでお知らせします。

- 4月1日(土) 春季無料相談会
6日(木) 第1回業務推進委員会
10日(月) 第1回研究広報委員会
14日(金) 第1回総務財務委員会
21日(金) 第1回理事会
月例無料相談会
5月2日(火) 監事監査
第2回総務財務委員会
11日(木) 第2回業務推進委員会
12日(金) 第2回理事会
15日(月) 第1回公的土地評価委員会
17日(水) 埼玉土地家屋調査士会総会(田中事務局長)
19日(金) 月例無料相談会
20日(土) 埼玉県行政書士会総会(早川専務理事)
26日(金) 東京都不動産鑑定士協会総会(今西副会長)
27日(土) 埼玉司法書士会総会(渋谷会長)
29日(月) 埼玉県宅地建物取引業協会総会(齋藤副会長)
30日(火) 第23回通常総会・懇親会(浦和東武ホテル)

士会だより 第73号
〒330-0063
さいたま市浦和区高砂3丁目10番4号
(埼玉建設会館4階)
社団法人 埼玉県不動産鑑定士協会
研究広報委員会
TEL 048-838-0483
FAX 048-866-5316
URL=http://www.sfkk.or.jp

第23回 通常総会を開催



あいさつをする渋谷正雄会長

5月30日(火)、(社)埼玉県不動産鑑定士協会の第23回通常総会が、さいたま市の浦和東武ホテルで開催されました。出席者は会員161人のうち69人(委任状提出者24人を含む。)、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決した者57人でした。

この総会では、第1号議案「平成17年度事業報告」、第2号議案「平成17年度一般会計収支決算」、第3号議案「平成17年度特別会計収支決算」及び第4号議案「関東甲信会の地域連絡協議会への移行

推進について」が審議され、全て原案どおり可決承認されました。

また、総会後の恒例の御来賓を迎えての懇親会は、埼玉県知事代理の柴田雅幸都市整備部副部長を始め、埼玉友好士業協議会会員の代表者など、多数のご臨席をいただき盛会に行われました。

なお、御来賓の方々は以下のとおりでした。(順不同・敬称略)

- 埼玉県都市整備部 副部長 柴田 雅 幸
埼玉県都市整備部 開発指導課長 渡 部 貞 一
さいたま市都市局都市計画部 参事兼開発調整課長 武 藤 利 雄
さいたま市都市局都市計画部開発調整課 副主幹 川 島 茂
(社)東京都不動産鑑定士協会 会長 神 戸 富 吉
埼玉弁護士会 副会長 町 田 友 啓
埼玉司法書士会 副会長 内 田 克 彦
埼玉土地家屋調査士会 総務部長 森 田 重 之
関東信越税理士会埼玉県支部連合会 副会長 北 條 嘉 信
埼玉県行政書士会 副会長 染 谷 憲 之
埼玉県社会保険労務士会 副会長 高 橋 行 夫
(社)埼玉県宅地建物取引業協会 事務局長 土 橋 孝 一
埼玉評価センター 会長 小 山 光 男
社会福祉法人埼玉県社会福祉協議会 副会長 柿 沼 雅 史
(株)埼玉新聞社 常務取締役経理局長 村 田 利 士
協会顧問弁護士 山 本 正 士
協会顧問税理士 櫻 井 将

総会・懇親会における知事あいさつ



祝辞を述べる柴田雅幸都市整備部副部長

本日は、社団法人埼玉県不動産鑑定士協会の第23回通常総会の議事が無事終了し、懇親会が、多くの御来賓の皆様のご出席のもと、盛大に開催されますことを心からお祝い申し上げます。

また、渋谷正雄会長をはじめとする協会の皆様方には、日ごろ、的確な不動産鑑定評価の実施を通じて、適正な地価の形成や不動産流通の円滑化に多大な御尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨今、景気の回復に伴い、交通便利性の高い地域を中心に、地価が上昇に転じ始めています。また、不動産投資信託を扱うリート市場の拡大によって、不動産市場はますます収益性、利便性を重視した市場に変化していると伺っております。

こうした中、県民生活や県内企業活動の基盤となる不動産の流通を支える専門家として、皆様方の果たす役割は、一層重要となっております。

皆様方には、更なる飛躍を遂げられますことを心から期待申し上げます。

さて、本県は、秩父の山々や武蔵野の面影を残す雑木林をはじめとする豊かな自然に恵まれており、東京にはない空間的な「ゆとり」があります。

首都東京に隣接する大消費地の中に多様な産業が集積し、700万人を超える県民の平均年齢は全国で2番目に若く、交通網も大変発達しております。

このように、埼玉県は非常に高いポテンシャルを持った県です。

こうしたポテンシャルを活用し、私は「企業誘致大作戦」を積極的に推進するとともに、圏央道開通を活かした産業集積の推進と、田園環境と調和した産業基盤づくりにも、全庁的に取り組むことといたしました。

私は、今後も、すばらしい自然風土と多様なライフスタイルが織りなす、美しく住みよい田園都市を創造していきたいと考えています。

こうした中で、会員の皆様がお持ちの不動産鑑定や地価調査などに関する豊富な知識と経験は、「ゆとりの田園都市」の実現には不可欠です。

どうか皆様方には、引き続き格別の御支援、御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、埼玉県不動産鑑定士協会の限りない御発展と会員の皆様方のますますの御健勝・御活躍を祈念申し上げますとさせていただきます。

平成18年5月30日

埼玉県知事 上田清司
(都市整備部 柴田雅幸副部長 代読)

